

日医発第493号(年税24)

令和2年7月15日

都道府県医師会長 殿

日本医師会長
中 川 俊 男



日本医師会年金の決算報告書について

平素より、日本医師会年金制度に御高配賜り、深く感謝申し上げます。

医師年金事業は、平成25年4月より認可特定保険業としてスタートしました。

この度、令和元年度の決算報告書(「ディスクロージャー誌 日本医師会が行う特定保険業(日本医師会年金)の現状 令和元年度」)を、昨年度に続き、作成いたしました。その主なポイントは別紙のとおりとなります。

当ディスクロージャー誌には、保険業法関係の法令により要請されている事項を記載し、さらに、医師年金に係わるお知らせなどを、掲載しております。

なお、医師年金の加入者・受給者・未加入の先生方のために、当ディスクロージャー誌を、日本医師会のホームページ(メンバーズルーム)に掲載しました。

以 上

別紙

日本医師会年金の決算について(令和元年度)

① 制度加入者の現況

- ・当年度末の加入者数は16,492人、受給者数は20,699人となり、制度加入者全体で37,191人となりました。

② 年金資産の運用状況

- ・年度末の年金資産合計(時価)は約4,886億円となりました。
- ・日医年金の資産運用は、中長期的に効率的な運用成果を得るために、運用資産を分散し、各運用会社が得意とする分野に委託する特化型運用を行っております。
- ・外国株式および国内株式は、概ね堅調に推移していましたが、令和2年2月以降、新型コロナウイルスの影響で株価が大幅に急落する事態となりました。この影響により、通年で、外国株式は▲12.78%、国内株式は▲10.24%に達しました。一方で、国内債券は▲0.17%、外国債券は先進国の国債が好調だったこと等から+1.79%、ヘッジファンドは+0.96%となりました。この結果、当年度の年金資産全体の運用利回りは、▲2.13%(前年度は+1.95%)となりました。
- ・また、5年毎の運用体制全体の見直しのため、令和2年3月から、運用資産を入れ替え、安定した配当収入が見込める低流動性資産等を新規に組み入れました。

③ 財政状況

- ・厚生労働省への改善計画提出時点(平成24年8月)での積立不足金の額は、2,093億円でしたが、その後、同計画のペースを上回って改善されてきました。当年度末の不足金額は、前年度末の350億円に比べ約185億円増加し、535億円となりましたが、まだ同計画値を上回っております。
- ・今後も、不足金解消を目指し、着実な運用、新規加入の促進等、改善計画に沿って運営、管理を行っていきます。

以上